



吉兆を呼び起こさない イーシャ・サーデサイ

「テンプルの中にいなさい」のサツツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信

2020年4月25日 土曜日

ナマステ。

アーラティーが行われたばかりのテンプルの雰囲気は、実に独特ではありませんか？ しばしば、空気の中の粒子そのものが特別な光沢をまとい、あたかもアーラティーのランプの揺らめく炎が、空気に光の軌跡を残したように感じます。バガヴァーン・ニッテャーナنداに、彼のテンプルの中で、光と歌によって礼拝をささげられて、私たちはとても幸運です。

シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを訪れたことからご存じの方もいると思いますが、私は物書きです。それ故に、私は言葉を愛しています。そして特に、このサツツァングにグルマーイが与えたタイトルの言葉が大好きです。「テンプルの中にいなさい」。このタイトルの言葉がとても意味深いと思われる一つの理由は、それらの言葉が描写するものの体験をあなたにもたらしからです。「テンプルの中にいなさい」と聞く時、実際に、あなたはテンプルに運ばれて行きます。あなたはバガヴァーン・ニッテャーナنداの面前にいます。あなたはシュリー・グルマーイの面前にいます。

今日、私たちは、アクシャヤ・トゥリティヤを祝っています。それは、インドの太陰暦であるパンチャーンガの1年で3日半ある最も吉兆な日のうちの1日とされています。インドでは、通常、

一日の中で特に吉兆と考えられている特別な時間帯——ムフーラトゥ——があります。しかし、アクシャヤ・トゥリティヤの日には、このムフーラトゥは必要ありません。この日のすべての瞬間が吉兆なのです。

朝から夜まで——吉兆。シュバ。マンガラ。

まさに、それはシッダ・ヨーガの道にいる私たちにとって、そしてシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにいる私たちにとって、今日という日を見事に描写するものでしょう。今日の早い時間には、私たちの多くがグルマーイと一緒に「テンプルの中にいなさい」のサツァングに参加しました。そのサツァングでは、私たちは「シュリー・グル・ギター」を朗唱しました——その音節はマントラです。

そして今また、私たちはここにいます。テンプルの中に。サツァングに。シッダ・ヨーガの教えを学ぶためにこの時間をささげることを決め、私たちのすべてをシッダ・ヨーガの修行に投じています。

朝から夜まで——吉兆。シュバ。マンガラ。

このような時——私たちが知っていると思っていた世界が、私たちの認識を超えて変化し、様変わりしているような時——に、吉兆の意味について考えることは、興味深く、そして恐らく、初めは少々当惑さえするでしょう。しかしながら、だからこそこの世界における吉兆と良さを思い出すための——それを認識し、呼び起こし、招くための——理由があるのだと私は思うのです。そう思いませんか？

グルマリーが私たちに教えた、吉兆を認識し、世界の中に神の手を見極める一つの方法は、自然を見ること——自然の中で見つかる無限の多様な色、形、質感、振る舞いに目を向けること——です。

グルマリーの要請で、2020 年のアースデーを祝って、SYDA ファウンデーションのウェブサイト部門がシッダ・ヨーギたちに、自身が撮った自然の写真をウェブサイトに送るよう呼び掛けました。そして…あなたも送ったりしましたか。先週のうちに、皆さんが撮った約 500 枚の写真が、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトの「Glimpses of Nature (自然を垣間見る)」というコーナーに投稿されました。それらの写真は実に魅力的でした。ありとあらゆる種類、色、形の、鳥、花、動物、そして風景が表現されています。

そこでグルマリーは私に、彼女に代わって皆さん全員に美しい画像へのお礼をするようにと言いました。投稿への招待にすぐに応えて、世界各地のあなたの場所から垣間見た自然を共有してくださり、ありがとうございます。

朝から夜まで——吉兆。シュバ。マンガラ。

このサツァングで、私たちはシッダ・ヨーガのチャンティングと瞑想に参加することにより、この日の吉兆を呼び起こし続けます。今日の早い時間にグルマリーとサツァングに参加した皆さんは、私たちがこれからチャンティングするナーマサンキールタナの片りんを味わいました。それは——「クリシュナ・ゴーヴィンダ・ゴーヴィンダ・ゴーパーラ」です。

そうです。アクシャヤ・トゥリティヤを祝って、私たちはクリシュナ神の名前を歌います。このナーマサンキールタナは、献身と切望——愛する神へのひたむきな願いを貫く祈りの質感のような切望——のラサを持つバイラヴィー・ラーガです。



シッダ・ヨーギとして、グルマーイの生徒として、吉兆なものを認識すること、自らの中に吉兆を培うこと、私たちの周りに吉兆を生み出し、それを他の人々と分かち合うこと——それは私たちが持っている責任です。

それは美しい責任であり、それでもなお、責任なのです。私はそれを、グルの教えを受け取り、グルの恩恵を知り、体験するという特権と素晴らしい運命を持つことの、本質的な部分として理解しています。

幸運なことに、私たちにはこの責任を果たすための非常に多くの手段があります。

例えば、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを訪れることをお勧めします。そこには、これらのサツァングからのグルマーイの教えがあり、テンプルにいることのあなたの体験を分かち合うこともできます。また、もしあなたがまだ申し込んでいなければ、私の大好きな学習ツールの一つに申し込むこともできます——それは「2020 年のグルマーイのメッセージに関するワークブック」です。

ワークブックでは、グルマーイは毎週、あなたが彼女のメッセージの理解と体験を深めるために熟考し、活動するための質問を与えます。多くの場合、グルマーイはその週の主要な質問に付随し、その理解をさらに深める助けとなる幾つかの質問を与えます。それは本当に豊かで、あり余るほどの教えです。

終える前に、この日とこのサツァングにまつわるすてきな逸話をお話したいと思います。

皆さんと話す準備をしながら、吉兆の概念と、この日が1年で最も吉兆な3日半のうちの1日であることの意味を振り返っていた時、私の心の中に一つのイメージが現れ続けました。それはほんの数日前に、グルマーイと「テンプルの中にいなさい」のサツツァングについて話していた時に起こったことのイメージです。私たちはアーシュラムの敷地に面した高い窓の近くに座っていました。私たちが話していると、私たちの目の前で全光景が繰り広げられたのです。

そこにはたくさんの鳥たちが窓にやって来ました——最初にアオカケス、次にショウジョウコウカンチョウ、そしてぷっくりとした小さなナゲキバト。鳥たちは最高に美しい声を立てながら、旋回したり、さっと舞い降りたりしました。鳥たちはグルマーイのダルシャンに来ている——愛の存在をたたえ、畏敬すべきものを認めている——と思わざるを得ませんでした。これが、サツツァングの準備をしている間ずっと私に去来していたイメージでしたが、それがなぜなのかは分かりませんでした。

そして、好奇心から、私は英語の「auspicious(吉兆)」という言葉の語源を調べました。私は何を見つけたのでしょうか？ それはラテン語で「良い前兆」を意味していること——そして具体的には、鳥の飛行によって示される良い前兆であるというものでした。

さらに、あなたは今夜の瞑想中に、テンプルの窓の外で鳥のさえずりが聞こえたのを思い出すかもしれません。ですから——アクシャヤ・トリティヤのサツツァングへの私たちの参加を、良い前兆として考えたいと思います。最も吉兆なものとして。「テンプルの中にいなさい」はグルマーイからの贈り物であり、本当に多くの方法で、本当に多くの模範や実例、そして共時性を通して、私たちに何度も何度もそれを思い出させてくれるのです。

朝から夜まで——シュバム。マンガラム。吉兆。

もう一度、皆さんすべてに、シュブ・アクシャヤ・トウリティヤ。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作權所有。